

汎用性の高い行動変容プログラム（中小企業版）の策定

1 目的・背景

- 大阪府は中小企業が多く、企業規模が小さくなるほど「検診受診率が下がる」「健康づくりの取組みが行われていない」「健康づくりに関するノウハウや知見を得る機会が少ない」等の状況にある。
- 府民の健康増進のためには、特に働く世代からの健康づくりが重要であることから、中小企業の従業員を対象とした健康づくりを推進していくことが必要である。
- 以上を踏まえ、健康づくりに取組む中小企業を増やすために、中小企業を対象とした「汎用性の高い行動変容プログラム」を策定する。

※「汎用性の高い行動変容プログラム」とは

現在、市町村に対して5つのプログラムを提示。（特定健診受診率の向上、特定保健指導の実施率の向上、高血圧対策、保健指導の場を活用した禁煙支援、糖尿病対策）汎用性の高い内容で、健康づくりに関する事業の枠組み、手法を示すと共に、リーフレット等の媒体を併せて提供し、市町村を支援している。

2 スケジュール（予定）

- 平成 28 年度 プログラムの検討、策定
- 平成 29 年度 プログラムの普及を図る

3 検討事項

- (1) 中小企業の健康づくりを推進するために、どのような視点でプログラムを策定すべきか。
- (2) プログラム策定に関わる機関について
- (3) 策定したプログラムの普及方法について